



## ホワイトバード通信 2016年4月

新ロゴ制定のお知らせ：

ロゴを新しくしました。かわいらしい小鳥のイメージはそのままに、デザインの細かい部分を洗練化しました。かわいがってくださいませ。

### 活動報告1：クラウドソーシングの利用

当団体の単発の単純な事務作業をしてくれる人を探すにあたって、クラウドソーシングを利用してみました。

- 相手を探して委託するまでの時間が早い
- 安い。ただしコモディティ化したサービス（誰でもできる作業）であれば。
- 細かく打合せをすれば、まあまあの品質が得られる。

など、数々の利点があると感じました。中間のクラウド側が仲立ちとなっていて、お金のや

りとりなどにも不安を感じることはありません。

一方、相手が匿名のまま作業が進む（ことが可能で、実際そうであることが多い）ことからくる不安もあります。以下の点が問題となりましょう。

- 秘密保持。
- 納期などの約束事項の遵守。
- 会談や面談が必要な微細な打合せ。
- 反社会的勢力と無関係かどうかの証明。

しかし、必ずしも匿名が悪いこととも思いません。相手が男性か女性かとか、年齢などを気にしないで作業を進めました。もしかしたら外国人や、障害を持つ方だったかもしれません。通常なら就職等で不利な立場にある人や、いわれのない差別を受けている人でも、クラウドソーシングでは他の人と全く同一に扱われることでしょう。

今回利用したのは国内のクラウドソーシングで、相手の方もおそらく日本人でした。しかし今後は海外のクラウドソーシングを利用することも考えてみようと思います。

活動報告 2 :

当団体の目的として、身体性の情報処理を考えるというものがあります。一般には、自分の体の部位（例えば腕や首）に対する意識というものは、非常にぼんやりしています。人が自らの体を意識でどうとらえているのか研究のために、その分野の先駆者である高岡英夫先生の「身体意識」に関するセミナーに出席してきました。高岡先生は、運動科学研究所を主宰して、日々身体の中の使い方の研究を進め、「ゆる体操」を世に広げていらっしゃいます。身体意識という言葉自体、高岡先生が初めて定義した用語です。（定義せず、例によってぼんやりと使われている例や自己矛盾をはらんだ誤った用法をしている場合は世の中に多数あります。）

高岡先生の講座の構成は素晴らしいものでした。生徒を飽きさせず、細部まで見事にデザインされていました。高度な運動を実現するには、単に筋肉を鍛えたり、動きを練習することでは実現ができません。身体ハードウェアを、それを動かすソフトウェアを高度に統合しなければなりません。その両者が統合されている状態になるためには、からだはゆるんで（これも高岡先生は定義して使っている用語）、さらに身体意識というものが欠かせないということが、講座に出てみるとよく腑に落ちます。

2016年4月1日